

評価項目No. 1

阿児町東部地区小学校建築・造成設計業務 公募型プロポーザル方式評価項目一覧表

技術提案書（1次審査用）														
大項目	中項目	小項目		評価基準	技術 評価点	小項目 得点	中項目 得点	大項目 得点	配点率	様式	備 考			
絶対評価	企業要件	業務実績	「評価対象業務1」(*1)の実績	延べ面積6,000㎡以上の小学校の設計業務(*2)	7	7	7	18	18.0%	様式4の1	■「評価対象業務1」(*1)における実績件数を評価します。 ・記載した「評価対象業務1」(*1)の建築物の規模、構造、延べ面積及び設計者がわかる書類（建築確認申請書、建築計画概要書、契約書、重要事項説明書、業務計画書、仕様書、図面の写し等）を添付してください。 ・様式－2に記載できる実績は5件までとします。			
				2 ～ 4 件 以 上	4						■平成14年度以降に竣工した実績で、建築士事務所としての受賞歴があるものについて評価します。 ・「受賞実績1」の対象は、延べ面積6,000㎡以上の学校の設計業務(*2)とします。 ・「受賞実績2」の対象は、延べ面積3,000㎡以上6,000㎡未満の学校の設計業務(*2)とします。 ・「受賞実績3」の対象は、「受賞実績1」及び「受賞実績2」以外の設計業務(*2)とします。 ・公共団体、建築学会及び建築設計団体等の建築コンクール等の受賞歴を対象とします。広く公募されたものを対象とし、社内等のコンクール等の受賞歴は評価を行いません。 ・様式－2に記載できる実績は1件とし、延べ面積を必ず記入してください。官民は問いません。 ・受賞実績がわかるもの（賞状のコピー、掲載された雑誌のコピー等及び携わっていたことがわかるもの）を添付してください。			
				1 件	2									
			過去の受賞実績	「受賞実績1」	6	6								
				「受賞実績2」	4									
				「受賞実績3」	2									
		技術者数	企業の所属技術職員数	技術職員数30人以上	5	5	5				■企業の所属技術職員数を評価します。 ・ここでいう技術職員とは、一級建築士、建築設備士を指します。			
				技術職員数10人～29人	3									
				技術職員数10人未満	1									
		技術職員の経験及び能力	管理技術者 （*6）	「評価対象業務2」(*3)の実績	延べ面積6,000㎡以上	8	8				11	55	55.0%	様式4の3①・②
	延べ面積3,000㎡以上6,000㎡未満				5	■管理技術者の当該業務への当該業務従事時間的専念度合いについて評価します。 ・本件技術提案書提出時において、契約中の担当全業務（官民は問いません。）を全て記載してください。 （5件以上有る場合は5件記載してください） ・工事監理業務は除きます。								
	類似業務で延べ面積3,000㎡以上				3									
	業務の繁忙度（業務補助以外の手持ち業務件数）			2 件 以 下	3	3								
				3 件 以 上 5 件 未 満	1									
	意匠主任技術者 （*6）			「評価対象業務2」(*3)の実績	延べ面積6,000㎡以上	8	8	11	様式4の4①・②	■設計者として従事した「評価対象業務2」(*3)における実績を評価します。 ・記載した「評価対象業務2」(*3)の建築物の規模、構造、延べ面積及び本人（意匠主任技術者に準じる立場）が行ったことがわかる書類（建築確認申請書、建築計画概要書、契約書、重要事項説明書、業務計画書、仕様書、図面の写し等）を添付してください。 ・様式-4の4①に記載できる実績は1件とし、1棟の延べ面積を必ず記入してください。 類似業務は、公共施設の新築、増築並び改築の設計業務(*2)とします。				
					延べ面積3,000㎡以上6,000㎡未満	5				■意匠主任技術者の当該業務への当該業務従事時間的専念度合いについて評価します。 ・本件技術提案書提出時において、契約中の担当全業務（官民は問いません。）を全て記載してください。 （5件以上有る場合は5件記載してください） ・工事監理業務は除きます。				
					類似業務で延べ面積3,000㎡以上	3								
				業務の繁忙度（業務補助以外の手持ち業務件数）	2 件 以 下	3	3							
					3 件 以 上 5 件 未 満	1								
			構造主任技術者 （*6）	「評価対象業務3」(*4)の実績	3 件 以 上	8	8			11	様式4の5	■構造主任技術者として従事した「評価対象業務3」(*4)の実績件数について評価します。 ・記載した「評価対象業務3」(*4)の建築物の規模、構造、延べ面積及び本人が行ったことがわかる書類（建築確認申請書、建築計画概要書、契約書、重要事項説明書、業務計画書、仕様書、図面の写し等）を添付してください。 ・様式-4の5に記載できる実績は3件までとします。官民は問いません。		
	2 件				5	■構造主任技術者の当該業務への当該業務従事時間的専念度合いについて評価します。 ・本件技術提案書提出時において、契約中の担当全業務（官民は問いません）を記載してください。 ・ただし、様式-4の5に記載できる実績は5件までとします。（3件以上有る場合は3件記載してください） ・工事監理業務は除きます。								
	1 件				3									
	業務の繁忙度（業務補助以外の手持ち業務件数）			2 件 以 下	3	3								
				3 件 以 上 5 件 未 満	1									
	設備主任技術者 （*6）			「評価対象業務2」(*3)の実績	延べ面積6,000㎡以上	8	8	11	様式4の6			■設計者として従事した「評価対象業務2」(*3)における実績を評価します。 ・記載した「評価対象業務2」(*3)の建築物の規模、構造、延べ面積及び本人が行ったことがわかる書類（建築確認申請書、建築計画概要書、契約書、重要事項説明書、業務計画書、仕様書、図面の写し等）を添付してください。 ・様式-4の6に記載できる実績は1件とし、1棟の延べ面積を必ず記入してください。 類似業務は、公共施設の新築、増築並び改築の設計業務(*2)とします。		
			延べ面積3,000㎡以上6,000㎡未満		5	■設備主任技術者の当該業務への当該業務従事時間的専念度合いについて評価します。 ・本件技術提案書提出時において、契約中の担当全業務（官民は問いません）を全て記載してください。 ・ただし、様式-4の6に記載できる実績は5件までとします。（5件以上有る場合は5件記載してください） ・工事監理業務は除きます。								
			類似業務で延べ面積3,000㎡以上		3									
			業務の繁忙度（業務補助以外の手持ち業務件数）	2 件 以 下	3	3								
				3 件 以 上 5 件 未 満	1									
			造成担当技術者 （*6）	「評価対象業務4」(*5)の実績	開発区域面積4ha以上	8	8			11	様式4の7	■設計者として従事した「評価対象業務4」(*5)における実績を評価します。 ・記載した「評価対象業務4」(*5)の造成の開発区域面積及び本人が行ったことがわかる書類（開発行為許可申請書、契約書、業務計画書、仕様書、図面の写し等）を添付してください。 ・様式-4の7に記載できる実績は1件とし、開発区域面積を必ず記入してください。		
	開発区域面積1ha以上4ha未満				5	■造成担当技術者の当該業務への当該業務従事時間的専念度合いについて評価します。 ・本件技術提案書提出時において、契約中の担当全業務（官民は問いません）を全て記載してください。 ・ただし、様式-4の7に記載できる実績は5件までとします。（5件以上有る場合は5件記載してください） ・工事監理業務は除きます。								
	開発区域面積1ha未満				3									
	業務の繁忙度（業務補助以外の手持ち業務件数）			2 件 以 下	3	3								
				3 件 以 上 5 件 未 満	1									
	技術力評価			技術力要件 技術提案	業務内容に対する	基本方針	優 れ て い る	17	27			27	27.0%	様式4の8
			良 好				12							
			普 通				8							
			や や 不 十 分				5							
			不 十 分				3							
		業務の実施体制	極 め て 良 好			10	10							
良 好			8											
普 通			6											
や や 不 十 分			4											
不 十 分			2											
					1次審査計		100							

(※1)「評価対象業務1」とは、平成14年度以降に竣工した延べ面積6,000㎡以上の学校の新築、増築（増築部分の床面積が6,000㎡以上のもの）並びに改築の設計業務(*2)をいいます。

(※2)「設計業務」とは、国土交通省告示第15号（平成21年1月7日）別添1に掲げる基本設計又は実施設計に係る標準業務をいいます。

(※3)「評価対象業務2」とは、平成14年度以降に竣工した延べ面積3,000㎡以上の学校の新築、増築（増築部分の床面積が3,000㎡以上のもの）並びに改築の設計業務(*2)をいいます。

(※4)「評価対象業務3」とは、平成14年度以降に竣工した延べ面積3,000㎡以上の新築、増築及び耐震改修（増築及び耐震改修にあつては、当該部分の床面積が3,000㎡以上）並びに改築の設計業務(*2)をいいます。

(※5)「評価対象業務4」とは、平成10年度以降に竣工した開発区域の面積1ha以上の開発行為に関する工事の造成基本設計・造成詳細設計をいいます。

(※6)管理技術者、意匠主任技術者、構造主任技術者、設備主任技術者及び造成担当技術者の業務の実績について、現在所属している建築士事務所以外での実績も評価の対象とします。

評価項目No. 2

技術提案書（2次審査用）															
大項目		中項目	小項目	評価基準		技術 評価点	小項目 得点	中項目 得点	大項目 得点	配点率	様式	備 考			
技術力評価	技術力要件	業務内容に対する技術提案（特定テーマ）	特定テーマ（1）	提案の的確性	極めて高い	30	30	70	150	75.0%	様式-4の9	特定テーマ（1）■ 建築計画 「 統合される5地区の歴史・伝統等を継承しつつ新たな大きな輪ができる学校づくりと、災害時には児童の安全を確保でき、地域の避難所として活用できる施設計画 」に対する取組方法等を具体的に記載してください。 ●提案の的確性、独創性及び実現性について評価します。 ●文書を補完するために概念図、引用可能な図面・写真等を用いることは支障ありませんが、本提案のためにCGや詳細図面等を作成することは求めません。 ●特定テーマ（1）～（3）のページ数の合計がA3版ヨコ3頁以内であれば、各特定テーマの配分は任意とします。なお、ページ数の合計が4ページ以上となる場合は、特定テーマ（1）～（3）の評価は行いません。			
					高い	24									
					普通	18									
					やや低い	12									
					低い	6									
				提案の独創性	極めて高い	20	20								
					高い	16									
					普通	12									
					やや低い	8									
					低い	4									
				提案の実現性	極めて高い	20	20								
					高い	16									
					普通	12									
					やや低い	8									
					低い	4									
			特定テーマ（2）	提案の的確性	極めて高い	20	20	50							
					高い	16									
					普通	12									
					やや低い	8									
					低い	4									
				提案の独創性	極めて高い	15	15								
					高い	12									
					普通	9									
					やや低い	6									
					低い	3									
				提案の実現性	極めて高い	15	15								
					高い	12									
					普通	9									
					やや低い	6									
					低い	3									
			特定テーマ（3）	提案の的確性	極めて高い	10	10	30	様式-4の9	特定テーマ（3）■ 環境配慮 「 施設のLCC（ライフサイクルコスト）を視点にコストの低減、省エネ、自然エネルギーの活用など環境に配慮した施設計画 」に対する取組方法等を具体的に記載してください。 ●提案の的確性、独創性及び実現性について評価します。 ●文書を補完するために概念図、引用可能な図面・写真等を用いることは支障ありませんが、本提案のためにCGや詳細図面等を作成することは求めません。 ●特定テーマ（1）～（3）のページ数の合計がA3版ヨコ3頁以内であれば、各特定テーマの配分は任意とします。なお、ページ数の合計が4ページ以上となる場合は、特定テーマ（1）～（3）の評価は行いません。。					
					高い	8									
					普通	6									
					やや低い	4									
					低い	2									
				提案の独創性	極めて高い	10	10								
					高い	8									
					普通	6									
					やや低い	4									
					低い	2									
				提案の実現性	極めて高い	10	10								
					高い	8									
					普通	6									
					やや低い	4									
					低い	2									
予定技術者の経験及び能力	ヒアリング	コミュニケーション力	質問に対する応答性	優れている	20	20	50	25.0%	－	配置予定の管理技術者、意匠主任技術者に対してヒアリングを行い、「コミュニケーション力」について評価します。 質問に対する応答が明快、かつ迅速な場合、優位に評価します。 配置予定の管理技術者、意匠主任技術者がヒアリングに出席できない場合はヒアリングの評価を行いません。					
				良好	16										
				普通	12										
				やや不十分	8										
				不十分	4										
			専門性及び取組意欲	優れている	30	30					30				
				良好	24										
				普通	18										
				やや不十分	12										
				不十分	6										
		2次審査計						200							

【技術提案書の特定・評価方法等】

- 1 技術提案書の特定については、1次審査と2次審査の合計の高いものを選定します。
- 2 評価結果の得点が同点の場合は、以下の順序で評価点が高いものを選定します。

●1次審査：「基本方針」→「業務の実施体制」→「企業要件」→「管理技術者」→「意匠主任技術者」→「構造主任技術者」→「設備主任技術者」→「造成担当技術者」

●2次審査：「特定テーマ（1），（2），（3）の合計」→「ヒアリング」→「基本方針、業務の実施体制の合計」→「企業要件」→「管理技術者」→「意匠主任技術者、構造主任技術者、設備主任技術者、造成担当技術者の合計」